

## ■入力機能における会計単位について

個人事業者データにおいて、会計単位は部門管理と業種(所得)管理という2つの役割を担う区分です。仕訳の入力段階では、2種類3箇所を設定されます。

### 1.仕訳を登録するページとしての会計単位(ヘッダー会計単位)

仕訳帳を開いた時に左上に表示されている会計単位をヘッダー会計単位といいます。ここで選択した会計単位は、財務諸表に反映される金額等とは関係なく、単純に「仕訳をどのページに入力するか」というような位置付けで使われます。「条件入力」等で仕訳の条件を絞り込む際にも、このヘッダー会計単位が基準となります。**ここでの会計単位を選択したとしても、財務諸表上の金額集計等には一切関係がありません。**

(例-ヘッダー会計単位において「会計単位A」を選択して仕訳を入力すると、ヘッダー会計単位において「会計単位A」を選択した場合にのみその仕訳が表示されるようになる)  
※「全体」は除外

### 2.仕訳内の勘定科目に紐づける区分としての会計単位(明細会計単位)

仕訳を入力する際に、各勘定科目の入力欄において入力する会計単位です。**この明細会計単位を基準として、財務諸表等へ残額・勘定科目情報等が会計単位別に振り分けられます。**



仕訳	
ヘッダー会計単位	
借方	貸方
明細会計単位	明細会計単位

……ヘッダー会計単位は仕訳の所属を規定します。  
……明細会計単位は科目毎の集計先を規定します。

## ■ 仕訳入力時の扱い

ヘッダー会計単位を選択したうえで仕訳入力を行うと、各勘定科目の明細会計単位には「ヘッダー会計単位と同じ会計単位」が自動で初期入力されます。そのため、ヘッダー会計単位を使い分けることによって、仕訳入力時の手間を省くことができます。

ヘッダー会計単位として「会計単位A」を選んでいるため、明細会計単位に「会計単位A」が自動で初期入力される

コード順	借方	貸方	消費税/資金繰	金額	摘要
3+	1/01 3 111 現金	511 売上1	10 売上   5.0%   1	10,000	
	4 会計単位A	5 会計単位B	1 現金売上   内	478	
	1/01 4 112 小口現金	512 売上2	1 現金売上		
	4 会計単位A	5 会計単位B	1 現金売上		

自動で入力された明細会計単位を、事後的に他の会計単位に変更することも可能です。

入力時は「会計単位A」が自動入力されるが、「会計単位B」に変更することもできる。

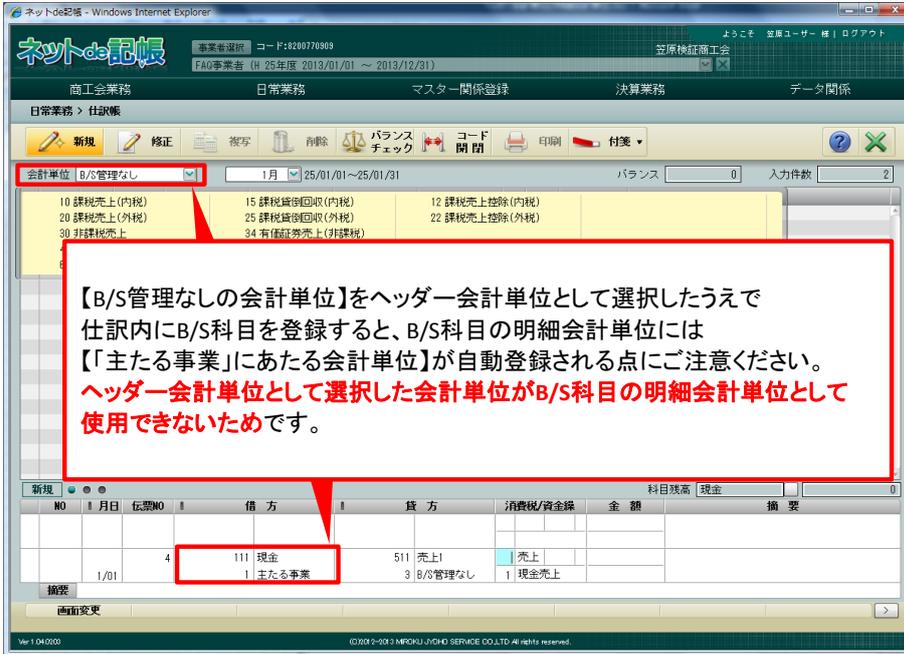
コード順	借方	貸方	消費税/資金繰	金額	摘要
3+	1/01 3 111 現金	511 売上1	10 売上   5.0%   1	10,000	
	4 会計単位A	5 会計単位B	1 現金売上   内	478	
	1/01 4 112 小口現金	512 売上2	1 現金売上		
	4 会計単位A	5 会計単位B	1 現金売上		

## ※注意点

会計単位が「B/S管理あり」であるか、「B/S管理なし」であるかによって、B/S科目の明細会計単位として当該会計単位を登録できるかどうかが変わります。

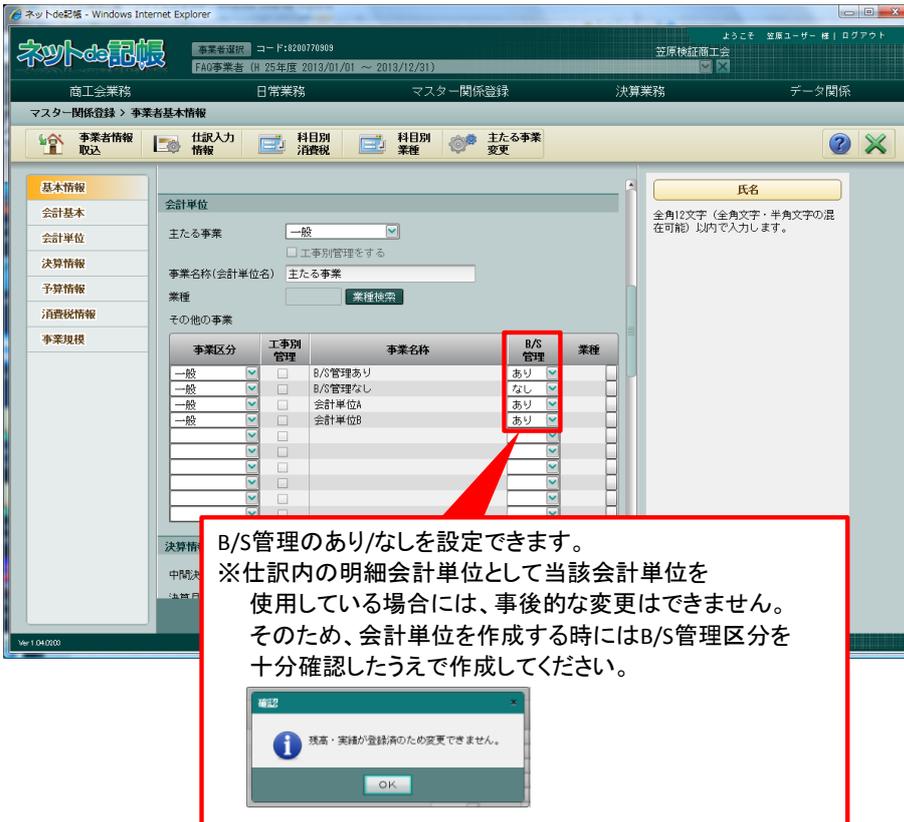
「B/S管理あり」の会計単位: B/S科目の明細会計単位として登録できる。

「B/S管理なし」の会計単位: **B/S科目の明細会計単位として登録できない。**



B/S管理のあり/なし は、マスター関係登録>事業者基本情報にて設定できます。

会計単位作成時の初期状態は「B/S管理なし」になっているため、B/S科目の集計を会計単位別で行いたい場合には「B/S管理あり」の会計単位を作成するようご注意ください。



## ■仕訳入力時の扱い(出納帳・買掛帳・売掛帳)

出納帳・買掛帳・売掛帳において選択するヘッダー会計単位は、当該仕訳のヘッダー会計単位であると同時に、**画面右上で選択した科目(自科目)の明細会計単位**という性質も持っています。

出納帳画面の場合、左上で選択したヘッダー会計単位は自科目である【現金】の明細会計単位としても登録されることになります。

出納帳・買掛帳・売掛帳では、仕訳入力欄では相手科目のみを選択することになります。

そのため、仕訳入力欄で相手科目の明細会計単位を選ぶことは可能です。

例: 出納帳で下記の仕訳を登録

自科目は【現金】  
ヘッダー会計単位は【会計単位A】

仕訳帳では下記のように表示される。

The screenshot shows the 'ネットde記帳' (Net de Keicho) software interface. The main window displays a journal entry for '現金' (Cash) with a red callout box pointing to the '借方科目' (Debit Account) and '貸方科目' (Credit Account) columns. The callout box contains the text: 'ヘッダー会計単位は【会計単位A】 【現金】の明細会計単位も【会計単位A】'. The interface includes a menu bar with options like '新規' (New), '修正' (Edit), '複写' (Copy), '削除' (Delete), 'バランスチェック' (Balance Check), 'コード開閉' (Code Open/Close), '印刷' (Print), and '付箋' (Sticky Note). The main table shows the following data:

NO	月日	伝票NO	借方科目	借方補助	貸方科目	貸方補助	消	業種	金額	摘要
5*	1/01	5	売上2		現金		10	1	10,000	出納帳で入力した仕訳

Below the main table, there is a summary table with the following data:

NO	月日	伝票NO	借方	貸方	消費税/資金繰	金額	摘要
5*	1/01	5	512 売上2 4 会計単位A	111 現金 4 会計単位A	10 売上 5.0% 1 現金売上	10,000 476	出納帳で入力した仕訳